



Management

国土交通省

技術検定不正再発防止対策
企業へのペナルティを強化

国土交通省は、技術検定の実務経験を偽る不正事案の再発防止対策として、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準」の改正案を取りまとめ、パブリックコメントの募集を開始しました。改正案では、施工管理技士資格や監理技術者資格者証の不正取得者を主任技術者や監理技術者として繰り返し工事現場に置いていた場合には、30日以上営業停止処分を行うこととされ、企業に対するペナルティが強化されています。

(<https://public-comment.e-gov.jp/ser/let/PcmFileDownload?seqNo=0000220361>)



Analyze & Census

国土交通省

建設工事受注動態統計調査報告
2021年4月分受注高は17.0%増

国土交通省は、建設工事受注動態統計調査報告2021年4月分を公表しました。2021年4月の公共機関からの受注工事は1兆4,034億円(前年同月比8.3%増)、民間等からの受注工事が3兆6,194億円(同3.5%増)とともに増加し、元請受注高は5兆228億円で前年同月比4.8%増となりました。下請受注高4兆3,828億円(同35.0%増)を加えた受注高の合計は9兆4,056億円で前年同月比17.0%増と大きく増加しました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001408088.pdf>)



Analyze & Census

国土交通省

主要建設資材需給・価格動向調査
6月の需給動向は木材が「ややひっ迫」

国土交通省は、生コン、鋼材、木材など7資材13品目を対象に2021年6月1日から5日に行った主要建設資材需給・価格動向調査の結果を公表しました。木材(製材・型枠用合板)についてみると、価格動向は異形棒鋼、H形鋼、及び石油(軽油)と並び「やや上昇」、需給動向は「ややひっ迫」、在庫状況は「やや品不足」となりました。木材(製材・型枠用合板)の価格動向・在庫状況は3か月連続で「やや上昇」・「やや品不足」となり、需給動向は2か月連続で「ややひっ迫」となりました。

(<https://www.mlit.go.jp/common/001410396.pdf>)



Analyze & Census

厚生労働省

毎月勤労統計調査(2021年4月分結果確報)
建設業の月間実労働時間は172.6時間

厚生労働省は、毎月勤労統計調査の2021年4月分結果確報を公表しました。建設業の月間実労働時間は172.6時間(前年同月比1.2%増)、製造業は166.4時間(同3.2%増)で、ともに4月の実績としては4年ぶりに増加に転じました。また、建設業の月間現金給与額は363,225円(同0.6%減)と4月の実績としては9年ぶりに減少し、製造業は323,012円(同2.3%増)と3年ぶりに増加に転じました。

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/r03/2104r/dl/pdf2104r.pdf>)



Analyze & Census

帝国データバンク

全国企業倒産集計2021年5月報
建設業は9か月ぶりに増加

帝国データバンクは、全国企業倒産集計2021年5月報を公表しました。2021年5月の倒産件数は、461件(前年同月比60.1%増)と依然として低水準なもの、昨年は緊急事態宣言の発出に伴う法的整理手続き滞留による影響で倒産が抑制されており、前年同月比では反動増となりました。業種別にみると、件数は全業種で増加し、建設業は84件(同133.3%増)と、9か月ぶりに増加しました。

(<https://www.tdb.co.jp/tosan/syukei/pdf/2105.pdf>)

東日本建設業保証

『図で見る公共工事の動き(令和2年度版)』を刊行

『図で見る公共工事の動き』は、年度ごとの前払金保証実績を発注者別、工事場所別等で集計し、図表等を用いて分かりやすくまとめたものです。集計対象は、北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社、西日本建設業保証株式会社。弊社ホームページからダウンロードすることができます。

(<https://www.ejcs.co.jp/report/chart.html>)

